



アイキョーホームプレゼンツレディーストーナメント2022

6月23~26日 / アイキョーボウル

松尾星伽 トンネル抜けて両目開く

アイキョーグループの特別協賛を得て誕生した『アイキョーホームプレゼンツ・プロボウリングレディーストーナメント2022』が、6月23日から4日間、千葉県印西市のアイキョーボウルで行われたが、松尾星伽(49期・東名ボール/ABS)が2017年のプリンスカップ以来4年半ぶりの2勝目で、初代女王に輝いた。(主催: (公社)日本プロボウリング協会)

優勝・松尾星伽のコメント



のボールでやりくりするタイプだけど、今回は1日のうちの時間帯、時間帯で4個のボールを使い分けて、それぞれに活躍してくれた。

優勝決定戦は、前半私は自分の失投以外はストライクになっていたけど、松永さんはいい感じの投球が@ピンが飛んでいなくて、自分に風が吹いているかなと思った。

選抜大会を投げるのは4年ぶりぐらいで、すごく緊張した。最終ゲームの10フレまでどうなるか分からない展開だったけど、そこで通過できて命拾いしたので、本大会は楽しんで投げようと思った。

今大会のレーンは、経験したことのない50フィートのロングオイル。昨年の千葉オープンでは、同じ会場で48フィートだったかな、本当にひと曲がりもしなかった。今回はもっとやばいかなと思っていた。もともと1個

2勝目までの道のりは長かったですね。とくにメカテクを外した当初は、ボウリングを辞めようかなというところまで精神的に追い詰められた。師匠の鈴木博喜プロに相談しながら、本当に初心者の気持ちでゼロから作り直してきた。この優勝は、練習嫌いでわがままな私を、見捨てずに指導し続けてくれた鈴木プロのおかげです。

優勝ボール: 900GLOBALクルーズ・ブラックベリー

9フレ初のストライクを持ってくると、10フレ1投目気迫のダブルで、わずかな望みをつないだ。しかし松尾は「10フレ1投目は、8フレがスプリット

だったので1枚寄って、いちばんいい投げ方ができた」と、会心のストライクで勝負を決め、長いトンネルを抜けて4年半ぶりの2勝目を挙げた。



10フレ1投目ヘッドを外しぼう然とする中、島久しぶりのチャンスだったので悔しい



▲ベストアママの松丸澄子選手(アイキョーボウル)

▲「絶対女王の姫路(麗プロ)・松永(裕美)と優勝決定戦で対戦するのが夢だった。だから最高の舞で松永さんと投げられたい」と松尾

予選(16G)、準々決勝(5G)、準決勝(5G)を経てTV決勝に進んだのは5名。その顔触れは、トップシードの松永裕美を筆頭に、3位で宇山侑花、4位で中島瑞葵と、柴田英徳プロの門下生で、小嶺シティボウルの3姉妹とも称される3名が揃って進出。2位には選抜大会から勝ち上がってきた松尾、そして最後の5番目の座には、アイキョーボウル所属で、大会ホステスプロでもある川崎由意が、準決勝最終Gの254で食い込んだ。また新人戦優勝でデビューを飾った今井双葉は、川崎から11ピン差で次点にとどまった。

5位決定戦

前半を互角で折り返したあとの6フレ、川崎が@と割れてオープン。9フレ、ともにファウンデーションをマークして、1マークリードの中島の10フレは「メンタルの弱さが出た」と、①②を残す8本カウント。渾身のパンチアウトを決めた川崎が216:208と8ピン逆転して勝ち上がった。



▲東海オープンで優勝して以降の苦しい4年間を思えば、よ頑張りましたと宇山

4位決定戦

3フレからターキーの宇山が前半を1マークのリード。しかし川崎が6フレからのターキーで逆転。さらにフォースを狙った9フレは、「5位決定戦でも出た@になるのが怖くてちょっと出したら、出すぎてノーヘッド」の①②④⑧を残す6本カウント。これが命取りとなって、8フレからオールウェーの宇山が242:219と再逆転で勝ち進んだ。

3位決定戦

ともにダブルスタートのあと、松尾が4フレから2つ目のダブルを持ってくると、宇山は6フレ③⑥⑩をカバーミスでオープン。「松永さんが待つ優勝決定戦まで行きたかった」と振り返った宇山だが、7フレをストライクのあとの8フレは@ピンが飛ばず、7フレからターキーで突き放した松尾が231:201で優勝決定戦進出を決めた。



▲「悔しい〜。でも一時期よりは、断然ボウリングになってきていると思う」と2大会連続準Vの松永



▲グリコに続く連勝はなかった川崎「業界のことをすごく思っていてやってくれている(重見康浩)会長の前で優勝したかった」と号泣

優勝決定戦

補助器具の使用が禁止になって、ともに素手でのアジャストに苦しんできた二人の優勝決定戦となった。

松永は「練習ボールではよかったけど、練習ボールがいいとあなりがちですね」と、1フレから4連続の@タップ。一方1フレは失投でオープンスターとなった松尾は、3フレからフォースでリードを奪う。

松永はアジャストが裏目に出たか5フレ④⑥⑦、7フレはビッグフォーと絶体絶命。ところが松尾も7、8フレとスプリットで連続オープン。松永は

●優勝決定戦

松尾 星伽									
6	3	9	▲	▲	▲	▲	⑦	①	②
9	29	59	89	116	134	142	150	170	199
松永 裕美									
9	▲	9	▲	9	▲	⑦	②	7	▲
19	38	57	74	83	99	106	126	156	186

●決勝ステップラダー

